

2026年5月11日

各 位

会社名 株式会社 栄 電 子  
代表者名 代表取締役社長 津田 百子  
(東証スタンダード・コード7567)  
問合せ先  
役職・氏名 取締役 大久保 雅文  
電話 03-6385-7240

### 2026年3月期連結業績予想の修正及び剰余金の配当に関するお知らせ

2025年11月13日に公表いたしました2026年3月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、当社は本日開催の取締役会において、以下「2. 剰余金の配当について」のとおり、2026年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議し、2026年6月26日開催の定時株主総会に付議することといたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 連結業績予想の修正について

###### (1) 2026年3月期連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想値 (A)	百万円 6,886	百万円 77	百万円 93	百万円 73	円 銭 11.87
今回修正予想 (B)	7,330	139	154	113	22.42
増減額 (B-A)	444	61	61	40	—
増減率 (%)	6.5	79.6	65.8	54.9	—
(ご参考)前期連結実績 (2025年3月期)	6,428	63	84	37	7.34

###### (2) 修正の理由

当社の主力市場である半導体製造装置関連分野においては、在庫調整の長期化等により、期前半を中心に慎重な受注環境が継続しておりました。しかしながら、主要顧客における在庫調整の進展に伴い、特に第4四半期において受注回復傾向が強まり、売上高は前回予想を上回る結果となる見通しとなりました。

利益面につきましては、第3四半期終了時点において前回予想を上回る水準で推移していたものの、第4四半期における支出計画の実行状況や、所有不動産に係る減損損失計上の可能性をはじめ、期末に向けて損益に影響を及ぼし得る不確定要素が存在しておりました。

今般、期末実績の精査及び諸費用等の確定により、合理的な算定が可能となったことから、2026年3月期通期連結業績予想を修正するものであります。

## 2. 剰余金の配当について

### (1) 2026年3月期配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2025年5月14日公表)	前期実績 (2025年3月期)
基準日	2026年3月31日	同左	2025年3月31日
1株当たり配当金	11円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金総額	55百万円	—	50百万円
効力発生日	2026年6月29日	—	2025年6月30日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (2) 理由

当社は、安定的かつ継続的な株主還元を基本方針としており、配当性向に加え、中長期的なDOE（連結株主資本配当率）目標も考慮しながら、株主還元の充実に努めております。

2026年3月期の期末配当予想につきましては、通期連結業績が前回予想を上回る見込みとなったことに加え、足元の受注環境にも回復傾向が見られることから、財務状況等を総合的に勘案し、前回予想の1株当たり10円から1円増配し、11円とさせていただきます。

以上